

患者さんへ

「当 ICU におけるミニトラック挿入症例の検討」

当院では、より良い治療を行うための研究を実施しています。

この臨床研究の目的は、重症患者の呼吸管理に使用するミニトラックというデバイスの使用状況や患者の転帰を検討することです。

ミニトラックは輪状甲状間膜から留置する吸痰補助のできるチューブであり、おもに、排痰の困難な呼吸不全の患者様や人工呼吸器からの離脱後の補助として用いられております。今回過去の診療記録からミニトラックの使用状況を検討し、今後の集中治療室における呼吸管理に活かすことを目的としています。

これまでの診療記録を集計します。新たな質問や検査の必要はありません。

この研究では、担当者が対象となる方のカルテ（診療記録）を選び、呼吸状態、ICU 滞在期間、入院期間、転帰などミニトラック挿入後の経過についての記録を集計させていただきます。

研究の対象は、人工呼吸器管理を行いミニトラックを挿入した一部の方です。

2016 年 4 月 1 日から 2019 年 8 月 31 日の間に、当院集中治療室にて人工呼吸管理を行い、ミニトラックを挿入した一部の方を対象にしています。

お名前や個人情報がでることは、一切ありません。

収集された資料は、個人を特定できないように処理して解析されます。結果は学会等で公表しますが、必要な情報のみ統計資料として集計しますので、当院外にお名前や個人情報がでることはありません。

研究終了後、収集資料は個人を特定できない形にして保管され、他の研究等に利用される場合があります。

研究内容の詳細等は、担当医あるいは下記の当院連絡先担当者にお問い合わせください。

結果を対象者に伝えることは有りません。

この研究にご自分の診療記録を使ってほしくない方は、お申し出ください。

この調査へのご自分の診療記録の使用をお断りになっても、不利益を受けることは全くありません。たとえそれが調査期間中であっても、いつでもお断りいただけます。

その場合は、2020 年 02 月 28 日までに、下記担当者にお申し出ください。

連絡先：済生会横浜市東部病院集中治療科・担当者 木村慎一

電話 045-576-3000

住所 〒230-0012 横浜市鶴見区下末吉 3-6-1